

天川村が目指す子育て環境

天川村

人口が年々減少している中、若い世代が子どもを産み、育てやすい環境づくりが重要となってきています。子どもの健やかな成長と保護者の子育てを地域や社会全体で支え、安心して生活できる環境を目指します。

1 基本データ <県記載>

- ・順位は県内市町村の降順
- ・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）					
増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲42.9% (▲6.2%)	33位	▲18.6% (▲2.1%)	29位	▲24.3% (▲4.1%)	35位
②合計特殊出生率			③有配偶出生率		
H20～24年(年率)	順位	対H15～19年(年率)増減		(15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)	
1.32 (1.29)	13位	+0.01 (+0.06)	H27年	順位	
			72.6 (74.4)	18位	
④出生数(人)		⑤年少人口割合(15歳未満)			
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
4 (8,947)	8.6% (12.0%)	26位	+1.2㊦ㄗㄗ (▲0.7㊦ㄗㄗ)		
⑥子育て世代割合(25～44歳)					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
9.2% (20.7%)	38位	▲3.3㊦ㄗㄗ (▲3.8㊦ㄗㄗ)			

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 夫婦のみの世帯が多く、また就労形態が「共働き」に変化し、子育てと仕事の両立が求められている。
- ② 近年、定住促進による転入者が増加しており、移住者に対する子育て支援が必要な状況。
- ③ 子育てに関するニーズが多様化してきている状況。ニーズに合った支援を提供していく上で、人材確保が必要となってきている。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方(目指していること)

- ① 子育て世代が安心して生活できる『切れ目ない』支援体制づくり。
- ② 多様な保育サービスの提供・母子保健医療体制の充実・経済的負担の軽減
- ③ 子育て世代への支援サービスの充実・強化を目指す。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 妊娠期から安心して子育てができるよう保健サービスを強化。
⇒妊婦健診費用助成の上限撤廃、生後1ヶ月母子健康診査にかかる費用の全額助成、任意予防接種費用の全額助成
- ② 出産後、子育てと仕事の両立が図れるよう保育環境を整備。
⇒ファミリーサポートセンター事業(保護者の外出時などに一次的に子どもを預かる事業)放課後児童健全育成事業(保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、放課後などに遊び・生活の場を提供)
- ③ 子育て世代の経済的負担軽減のため、助成制度を充実。
⇒乳幼児養育手当の実施(0～3歳児までの子どもに対し月額1万円の手当を支給)

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 子育て支援会議や要保護児童対策地域協議会の定期的な開催を通して関係機関での情報共有・今後の支援内容を検討。
- ② 保育所・幼稚園・小学校・中学校といった教育機関内での情報共有を実施。
- ③ 世代間交流による地域住民とのふれあい。
- ④ 子育て世代包括支援センター開設に向けての体制整備。

詳しくは 天川村ホームページ

<http://www.tenkawa.nara.jp/office/life/child-rearing>